



働き続けられる職場環境を目指して



看護副部長
7S病棟師長 山口 美紀

4月に看護副部長を拝命し、気持ちを新たに2024年度がスタートいたしました。

超少子高齢社会となり、看護職も若者の大幅な増加が見込めない状況にあります。しかし、これからの医療ニーズに対応する看護サービスを提供するためにも、人材の確保は必須となります。一人ひとりが個人の多様性を認め合い、互いを尊重しあう組織文化を醸成し、生涯健康で働き続けられる職場環境を構築していくためには、看護職だけでなく職

員全員で取り組んでいく必要があると考えます。

チーム医療のパフォーマンスを向上させるためにも、職種や職位、年齢の垣根を越え、対話によって相互理解することが必要だと考えます。「心理的安全性の高い職場づくり」を日頃から意識的にマネジメントし、人材の定着に繋げるよう、尽力してまいります。



緩和ケア病床について



5S病棟師長 児玉 涼子

「緩和ケア」とは、がんだけでなく生命を脅かす疾患により、様々な問題に直面している患者さんやそのご家族に対し、痛みを緩和することだけでなく、心理的・社会的問題など、からだところどころの「つらさ」を治療を通して和らげていくことを目的としています。

当院でも、新たに2024年4月から緩和ケア病床の運用が開始となりました。病室は暖かい日の光やリハビリ庭園の木々の緑が見える良い環境で、現在は大部屋・個室あわせて8床での運用となっております。

患者さんが苦痛のない入院生活を送ること

ができ、ご家族が抱えている不安に対して少しでも寄り添うことができるように、また、入院中だけでなく退院後も苦痛なく安心して生活を送っていただけるよう、医師や看護師・薬剤師・栄養士・公認心理師等、緩和ケアチームの一員であるスタッフが支援させていただきます。

